

～東日本大震災から15年～

3.11 追悼礼拝と感謝のとき 2026 プログラム



日 時：2026年（令和8年）3月11日（水）・12日（木）

11日：追悼礼拝と感謝のとき 14:30～15:30

12日：愛と希望のコンサート 10:00～11:00

場 所：

追悼礼拝＝石巻栄光教会礼拝堂/コンサート＝新蛇田第一集会所

主 催：石巻広域ワイズメンズクラブ

共 催：公益財団法人仙台 YMCA

4 ワイズメンズクラブ連絡会議

（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域クラブ）

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

特定非営利法人被災者支援ネットワーク・東北ヘルプ

日本基督教団石巻栄光教会

< 礼 拜 >

(14:30~15:10)

司会 川上 直哉
説教 関川祐一郎
(日本基督教団井草教会 牧師)
奏楽 吉永 肇子

1. 前奏
2. 招きのことば 「慰めよ、慰めよ、私の民を——と、あなたがたの神は言われる。」(イザヤ書 40:1)
3. 讃美歌 ウクライナ民謡による「キリエ・エレイソン (主よ あわれみたまえ)」(希・日二回ずつ)
4. 祈り 「東日本大震災から15年を数えての祈り～詩編(しへん)23編(へん)によせて～」
(東北バプテスト連合被災支援委員会 作)
5. 讃美歌 フィンランドニアによる「やすかれ わがこころよ」(1節のみ)
6. 聖書朗読 ヨハネによる福音書 16章 33節

これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

7. 説教 「しかし、勇気を出しなさい」
8. 讃美歌 「球根のなかには」
9. 派遣 「神のめぐみ ゆたかに受け」
10. 祝祷 関川祐一郎 牧師
11. 後奏

< 感謝のとき >

(15:15~15:30)

1. 開会のあいさつ

4ワイズメンズクラブ連絡会議代表 菅野 健 様
(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域クラブ)

2. 共催者代表あいさつ

(1)ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区理事 山下 真 様

(2)公益財団法人 仙台 YMCA 総主事 加藤 雄一 様

3. 出席者の紹介

司 会

4. 閉会のあいさつ

第 29 回東日本区大会ホスト委員長 川上 直哉

開催日 2026年 6月6日(土)

本大会
石巻市河北総合センター(ビッグバン)
晩餐会・フェロ-シップアワー
石巻グランドホテル

宮城県 石巻市

ワイズメンズクラブ 国際協会

瓦礫、命、感謝。

第29回 東日本区大会

次の未来へ!

前夜祭
2026年 6月5日(金)
午後6時~石巻元氣市場にて
●親睦ゴルフ大会
別紙にて詳細をお知らせします

エクスカーション
2026年 6月7日(日)
「津波の教え石」大川小学校・
原発被災地などを訪問します
6月8日(月)
オプション 東北キリンタン-ツアー

主催) ワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会実行委員会
協賛) 石巻広域クラブ、仙台、仙台青葉城、仙台広瀬川、もりおかクラブ
後援) 石巻市教育委員会、公益財団法人仙台YMCA

お申込みは
3ヶ月前から
申込フォーム

32

礼拝 キリエ

キリエ・エレイソン

KYRIE ELEISON
曲：ウクライナ民謡

The musical score is written in 4/4 time and consists of two systems of two staves each. The lyrics are in Japanese and are placed between the staves. The first system contains the first two lines of the text, and the second system contains the last two lines. The melody is simple and folk-like, with a consistent rhythm. The lyrics are: 主よ、あわれみたまえ。キリエ・エレイソン。主よ、あわれみたまえ。キリエ・エレイソン。

(♩ = 88)

マタ 15 : 22, 20 : 30 - 31

ねん がつ にち
2026年3月11日

ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災から15年を数えての祈り

しへん へん
～詩編23編によせて～

しゅ わたし ひつじか ひ
主は私たちの羊飼。あの日、そして今日も。

しゅ ねん ねん
主よ、15年が経ちました。

うしな いのち おも とき わね おく いた はし
失われた命を想う時、胸の奥に痛みが走ります。

ゆれ うご だいち さけ こえ おし よせる なみ
揺れ動く大地、叫び声、押し寄せる波、

とうかい いえいえ わたし おぼ
そして倒壊した家々を、私たちは覚えています。

いのち うしな ひとびと かれ ふるさと よ ぼしよを
命を失った人々、彼らのコミュニティ、そして故郷と呼んでいた場所を、

わたし おぼ
私たちは覚えています。

あなたは、ことば にならぬ なげ なか わたし とも た
あなたは、言葉にならない嘆きの中で、私たちと共に立ち、

なみだ なが わたし とも あゆ
涙を流しながらも、私たちと共に歩んでくださいました。

しゅ きず つか は ひとびと
主よ、あなたは傷つき、疲れ果てた人々を、

みどり ぼくそうち いこい みず みちび
緑の牧草地と憩いの水へと導いてくださいます。

あなたはわたしの たましい いや ただ みち みちび
あなたは私たちの魂を癒し、正しい道へと導いてくださいます。

しかし、しゅ くに ごらん
しかし、主よ、この国をご覧ください。

げんしりよくはつでんじょ じ こ と かせ いた きょうくん けいけん
原子力発電所の事故という、取り返しのつかない痛みと教訓を経験しながら、

すでにげんぼつ きいかどう えら と げんじつ
すでに原発の再稼働を選び取っている現実を。

記憶きおくがいかに容易よういに薄うすれていくかを、私わたしたちは知しっています。

かつての痛いたみと悲かなしみが風化ふうかし、あの日ひを知らない世せ代だいが増ふえています。

私わたしたちに、忘わすれない心こころ、

利り益えきや効こう率りつよりも命いのちを守まもることを選えらぶ正ただしい心こころを与あたえてください。

死しの陰かげの谷たにを歩あゆむときも、私わたしたちは恐おそれません。

あなたわたしは私わたしたちと共ともにいてくださるからです。

あなたみの御手てによって、悲かなしむ者ものを支さえ、疲つかれた者ものに力ちからを与あたえてください。

あなたは、たとえ苦くるしみの中なかにあっても、

私わたしたちに必要ひつようなものを備そなえてくださいます。

私わたしたちの心こころをあなたへいあんの平安みで満みたしてください。

主しゅよ、あなたいつくの慈あわしみと憐あはれみが、私わたしたちの生しょうがい涯わたりに渡わたり、続つづきますように。

どこにいても、あなたみなの御名なに留とどまり、希き望ぼうをししっかりと持もち、

信しん頼らいをももって歩あゆむことことができるたするように助たすけてください。

言こと葉ばにできできないことことをすすべてあなたゆだに委ゆだね、

主しゅイエス・キリストの御名みなによってこの祈いのりを捧ささげます。

アーメン。

March 11. 2026

Prayer on the Fifteenth Anniversary of the Great East Japan Earthquake

(Inspired by Psalm 23)

Disaster Relief Committee of Tohoku Baptist Union

The Lord is our shepherd,
on that day, and even today.

O Lord, fifteen years have passed.
When we remember the lives that were lost,
the pain still dwells deep within our hearts.
We remember the trembling earth, the cries,
the rushing waves, and the collapsed homes.

We remember those who lost their lives,
their communities, and the places they once called
home.

You stood with us in our wordless lament,
and walked with us, even as we wept.

O Lord,
you lead the wounded and the weary
to green pastures and to still waters.

You heal our souls
and guide us along the right paths.

Yet, O Lord, look upon this nation.
Though we have experienced the irreversible pain
and hard lessons of a nuclear power plant accident,

we see the reality that the restart of nuclear power
has already been chosen.

We know how easily memory fades.

Past pain and sorrow grow distant,
and more people now live without knowing that day.

Grant us hearts that do not forget,
hearts that choose the protection of life
over profit and efficiency.

Even when we walk through the valley
of the shadow of death,

we will not fear,
for you are with us.

By your hand,
support those who mourn
and give strength to the weary.
Even in the midst of hardship,
you provide what we need.
Fill our hearts with your peace.

O Lord,
may your lovingkindness and mercy
follow us all the days of our lives.

Wherever we may be,
help us to remain in your name,
to hold fast to hope,
and to walk forward in trust.

We entrust to you all that cannot be put into words,
and we offer this prayer
in the name of our Lord Jesus Christ.

Amen.

やすかれ、わがころよ

[1298]

Stille, mein Wille
詞: Katharina von Schlegel, 1697-?

FINLANDIA
曲: Jean Sibelius, 1865-1957

1 や や や
2 か か か
3 れ れ れ

わ わ わ
が が が
こ こ こ
ろ ろ ろ
よ よ よ

主 伊 ぬ の
な つ め き か ひ の
す も き

と た う
は ぜ の
い と い
ま き な
す も き

い お み
た そ く
く か や
る な が
し し て
み み き
を を た

し み う
ず む れ
か ね い
に に は
た ゆ き
び て に
え だ え
よ ね ん

讚美歌 フィンランドニアによる「やすかれ わがころよ」

主 伊 ぬ の
な つ め き か ひ の
す も き

と た う
は ぜ の
い と い
ま き な
す も き

た の い
え ぞ の
ぬ の
え み ち
の

や し ち
な さ
の
は ち ぞ
な か
し

ア - メ ン

- 1 やすかれ、わがころよ、
主イエスはともにもいます。
いたみも苦しみを
しずかに忍び耐えよ。
主イエスのともにもませば、
耐えぬ悩みはなし。
- 2 やすかれ、わがころよ、
なみかぜ猛るときも、
恐れも悲しみを
みむねにすべて委ねん。
み手もてみちびきたもう
のぞみの岸はちかし。

- 3 やすかれ、わがころよ、
月日の移ろいなき
み国はやがてきたらん、
うれいは永久に消えて、
かがやくみ顔あおぐ
いのちのさちぞ受けん。

ヨハ20：19-21 ヨシユ1：9 イザ7：2-4, 30：15, 35：10
詩13 ヘブ12：10-11 ロマ12：12 黙21：4

礼拝 派遣
神の恵みゆたかに受け

THE ASH GROVE
曲：ウエーリス民謡

Sent forth by God's blessing
詞：Omer Westendorf, 1916—

派遣 「神のめぐみ ゆたかに受け」

2 神を賛美し、 日々の仕事 信仰をわかし 愛しながら 日々の仕事 果たそうよ。 信仰をわかし 愛しながら どんな人とも 肩を組もう。 恵みで育て 光で導き みんなを一つに してくだささい。 すべてのももの 賛美と感謝を 主キリストに ささげよう。

1 神の恵み 神の民は 礼拝はおわった、そのみりは 信じるものに 授けられる。 心の中にまかれたその種 行動の花を ひらかせる。 神は招き、愛は結び、 米国のため 働こう。

2026年3月12日 「3.11を忘れない。愛と希望のコンサート」

3.11を忘れない。

愛と希望のコンサート

LOVE & HOPE CONCERT

東日本大震災から十五年。
あの日を忘れず、共に歩み続けてきた時間がここに 있습니다。



森 祐理 (モリ ユリ)

～福音歌手～

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒。
NHK京都放送局レポーターを経て、
NHK教育TV「ゆかいなコンサート」歌のお姉さんを務めた。
阪神淡路大震災で弟を失う体験を通し、国内外の被災地にて心の救援物資を届ける働きを継続。
2007年法務大臣顕彰を拝受。2019年台湾外務省より「外交の友貢献賞」を拝受し、勲章が授与された。
ラジオ関西「モリユリのこころのメロディ」番組パーソナリティ。
心に響く話し方講座「こころのボイスレッスン」講師。
CD24種類、DVD、著書等多数発売。
YouTube「モリユリちゃんねる」好評配信中。
公式HP <https://www.moriyuri.com>

新蛇田第一集会所

3月12日 (木) 10時～

※ 入場無料です。

主催：宮城三陸3.11東日本大震災追悼記念会／一般社団法人モリユリ・ミュージック・ミニストリーズ
共催：NPO法人 被災支援ネットワーク・東北ヘルプ／石巻広域クラブ
後援：公益財団法人仙台 YMCA / 宣証"地域支援ネット架け橋" <担当：中澤 090-6628-0628>